

平成26年度 第一回VUV・SX高輝度光源利用者懇談会幹事会議事録

日時：平成26年 6月 4日（水）15：00 ～ 17：30

会場：東京大学物性研究所 6階 第2会議室

出席者：近藤 寛(会長、慶應大) 尾嶋正治(東大放射光連携研究機構) 組頭広志(KEK)
大門寛(奈良先端大) 間瀬一彦 (KEK)

委任状：6通

オブザーバー：辛埴(東大物性研) 小森文夫(東大物性研) 松田巖(東大物性研) 原田慈久(東大物性研) 和達大樹(東大物性研)

配布資料

- ・平成26、27年度会長・幹事選挙結果報告書
- ・平成26、27年度幹事名簿
- ・平成25年度会計報告書
- ・平成26年度賛助会員リスト(平成26年6月2日現在)
- ・平成25年度第一回幹事会議事録(案)
- ・東京大学放射光連携研究機構資料
- ・つくば分室報告書
- ・極限光科学実験棟(E棟)の現状について
- ・東京大学アウトステーション報告会「SPring-8 BL07LSUの現状と第Ⅱ期への展望」(2014.2.19開催)冊子

報告・議事

- ・議事に先立ち、近藤 寛会長より会長就任の挨拶が行われた。
- ・平成26、27年度 会長・幹事選挙について
松田 巖選挙管理委員(東大物性研)より、平成26、27年度の会長・幹事選挙結果について報告がなされた。
- ・委員長選出
平成26、27年度の各委員長が近藤会長より推薦され、承認された。
計画委員長 吉信 淳(東大物性研)
会計委員長 奥田太一(広大放射光)
庶務委員長 間瀬一彦(KEK)
編集委員長 雨宮健太(KEK)
会計監事 小森文夫(東大物性研)

- 平成25年度会計報告
 - 近藤会長より平成25年度の会計報告が行われ、承認された。
 - また、今年度の賛助会員10社（平成26年6月2日現在）が紹介され、今後の賛助会員の紹介方法と会費有効活用についての議論が行われた。
 - 成果報告冊子内での紹介、当懇談会共催の研究会の冒頭で賛助会員の支援について紹介することも検討することとする。

- 平成 25 年度活動報告
 1. 放射光連携研究機構の現状
 - 尾嶋正治放射光連携研究機構前機構長より、機構の運営体制、今後の活動予定と検討課題等の報告が行われた。

 2. SPring-8 東大アウトステーションの現状
 - 原田慈久物性研究所播磨分室准教授より、アウトステーションビームライン BL07LSU の設備、実験・運営状況の報告が行われた。
 - 課題採択率 5 割という現状とその採択における次世代の教育問題、日本人研究者と海外研究者のバランスの問題等が討論された。
 - プレスリリースの紹介、論文数の急増についての報告がなされた。
 - 現在進行中のプロジェクトの紹介が行われた。

 3. 物性研つくば分室の現状
 - 辛埴施設長より、つくば分室は 2013 年度末で閉鎖となったが、今後、アクティビティの継続に全力を注ぎ共同利用に供していく旨の説明が行われた。

 4. 物性研究所放射光施設について
 - 辛施設長より、物性研究所E棟にて、これまでのつくば分室ユーザーの受け入れも考慮の上、平成 27 年 4 月より共同利用開始をめざし準備を進めていることが報告された。

- 次期光源・ビームライン アンケートの報告
 - 和達大樹選挙管理委員より、会長・幹事選挙と同時に行われた次期光源・ビームライン アンケート結果の報告が行われた。今後、当懇談会 **webpage** およびニュースレターにて掲載する方針とする。**Webpage** ではアンケート結果への意見も書き込めるようにすることを検討する。

- 今年度の活動方針
 1. 平成 26 年 9 月 19 日（金）、20 日（土）に物性研究所短期研究会を共催する。現

在、軌道放射所員により検討中のプログラムを調整後、近日中に会員に通知することとする。この研究会が、幅広いサイエンスをベースして VUV-SX 分野の今後の方向性を再検討する場となることをめざす。

2. SPring-8 BL07LSU の研究成果発表会を ISSP-Workshop として例年通り平成 27 年 2 月ごろに共催する。

3. 状況に応じ、中型高輝度放射光源における新しい物性研アウトステーション建設に向けてのサポートをおこなう。

(議事録 事務局)